

1) 新課程とは何か：目的と概観

- ✓ 予測困難な社会で生きる力を身につけるための初等中等教育（10年に1回改訂）
- ✓ 前例なし・予測不可能な社会に対するレジリエンスと行動力・協働力の獲得
- ✓ 自己の在り方を考え、キャリア形成の方向性と関連づけて学ぶ“探究”
- ✓ 次代のスキルセットとなる能力の獲得（言語、デジタル、数的素養）
- ✓ 主体的・対話的・深い学びによるコンピテンシー習得

■改訂目的

予測困難な時代に自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動できる「生きる力」を身につける

■基軸：資質・能力の3つの柱

今回の改訂では、知・徳・体にわたる「生きる力」を生徒に育むために「何のために学ぶのか」という各教科等を学ぶ意義を共有しながら、授業の創意工夫や教科書等の教材の改善を引き出ししていくことができるようにするため、

全ての教科等の目標や内容を以下3つの柱で整理し、一体的に育成する教育を志向した（総則第1章総説より抜粋・要約）

- ① 生きて働く「知識・技能」の習得
- ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」等の育成
- ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」等の涵養

■何を学ぶか

言語能力の育成／外国語教育／プログラミング教育／理数教育の充実／道徳教育／伝統や文化に関する教育／主権者教育／消費者教育

■どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び



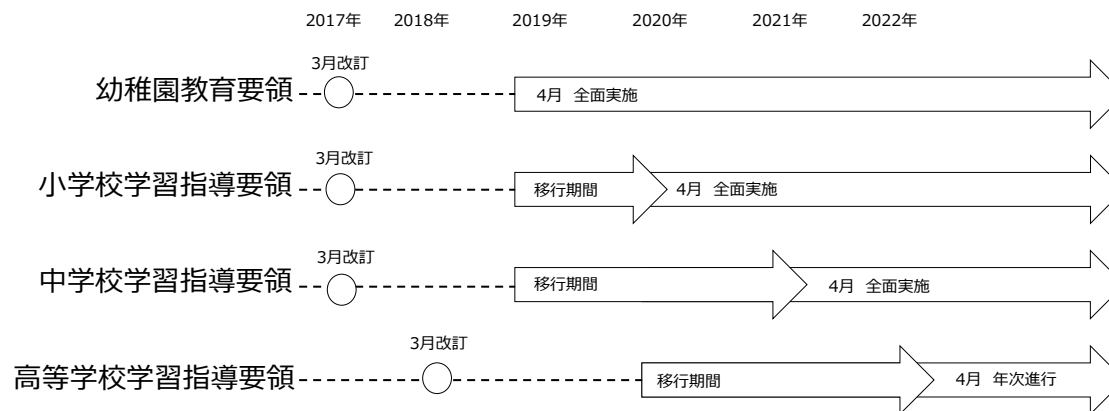
☒ 新しい学習指導要領で育む資質・能力

「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性など」の3つの柱

政府広報オンラインより引用

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201903/2.html>

図 新しい学習指導要領の導入スケジュール
高等学校は2022年度からスタートしています



文部科学省「今後の学習指導要領改訂に関するスケジュール」より作成

2) 教科・科目の整理

- ✓ 「歴史総合」は近現代の日本史・世界史を学ぶ科目、地歴は「探究」科目導入
- ✓ 数学B「ベクトル」、数学Ⅲ「平面上の曲線と複素数平面」を移行して数学Cを新設
- ✓ 18歳成人を踏まえ、主権者教育の一環で「公共」を新設
- ✓ 情報は科目再編により「情報Ⅰ」（プログラミングやネットワークの基礎）と応用科目の「情報Ⅱ」を設置
- ✓ 数学的な見方・理科的な見方を組み合わせた探究活動を行う「理数探究」新設
- ✓ 「総合的な学習の時間」が「総合的な探究の時間」に変更

現行				改訂			
教科	科目	単位数	必修	教科	科目	単位数	必修
国語	国語総合	4	○2単位まで減可	国語	現代の国語	2	○
	国語表現	3			言語文化	2	
	現代文A	2			論理国語	4	
	現代文B	4			文学国語	4	
	古典A	2			国語表現	4	
	古典B	4			古典探究	4	
地理歴史	世界史A	2	<input type="checkbox"/> いずれか <input type="checkbox"/> 1科目	地理歴史	地理総合	2	○
	世界史B	4			地理探究	3	
	日本史A	2			歴史総合	2	
	日本史B	4			日本史探究	3	
	地理A	2			世界史探究	3	
	地理B	4					
公民	現代社会	2	現代社会または 他2科目	公民	公共	2	○
	倫理	2			倫理	2	
	政治・経済	2			政治・経済	2	
数学	数学Ⅰ	3	○2単位まで減可	数学	数学Ⅰ	3	○2単位まで減可
	数学Ⅱ	4			数学Ⅱ	4	
	数学Ⅲ	5			数学Ⅲ	3	
	数学A	2			数学A	2	
	数学B	2			数学B	2	
	数学活用	2			数学C	2	
外国語	コミュニケーション英語基礎	2	○2単位まで減可	外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	○2単位まで減可
	コミュニケーション英語Ⅰ	3			英語コミュニケーションⅡ	4	
	コミュニケーション英語Ⅱ	4			英語コミュニケーションⅢ	4	
	コミュニケーション英語Ⅲ	4			論理・表現Ⅰ	2	
	英語表現Ⅰ	2			論理・表現Ⅱ	2	
	英語表現Ⅱ	4			論理・表現Ⅲ	2	
	英語会話	2					
情報	社会と情報	2	<input type="checkbox"/> いずれか1科目	情報	情報Ⅰ	2	○
	情報の科学	2			情報Ⅱ	2	
				理数	理数探究基礎	1	
					理数探究	2～5	

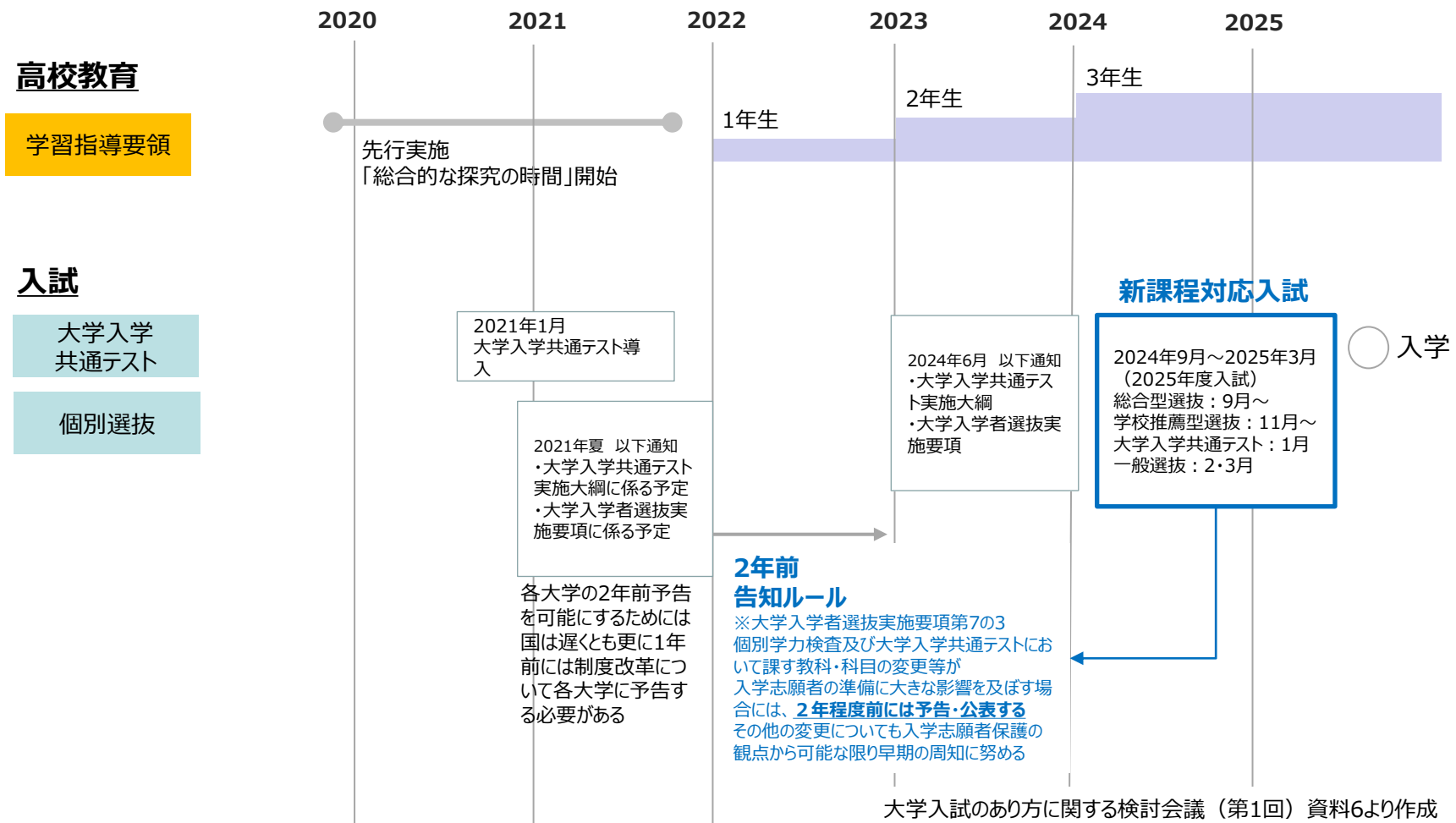


総合的な学習の時間 3～6 ○2単位まで減可

総合的な探究の時間 3～6 ○2単位まで減可

3) 入試関連スケジュール (2025年度入試)

- ✓ 共通テストや個別入試でどの科目を使うのが高校教育と進路指導に直接影響する
- ✓ 進まない情報公開 (2年前告知ルール)



4) 大学入学共通テストの変更点 (2025年度入試)

- ✓ 「情報」新設、「数学」で数学Cが追加され「数学Ⅱ、数学B、数学C」で1科目に、「地歴公」の科目区分変更（歴史総合と探究）
- ✓ 2022年度の高校2年生以上に対しては現行課程の教科・科目が経過措置科目として出題される予定
- ✓ 試験の時間割は2024年6月に公表予定

～2024年度実施：6教科30科目

出題教科	出題科目	
国語	国語	
数学	① 数学Ⅰ 数学Ⅰ・数学A	①から1科目選択
	② 数学Ⅱ 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計 情報関係基礎	②から1科目選択
地理歴史	世界史A 世界史B 日本史A 日本史B 地理A 地理B	地理歴史、公民から最大2科目を選択 ※同一名称を含む科目の組み合わせで2科目を選択することはできない
公民	現代社会 倫理 政治・経済 倫理、政治・経済	
理科	① 物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	A:①から2科目選択 B:②から1科目選択 C:①から2科目、及び②から1科目選択 D:②から2科目選択
	② 物理 化学 生物 地学	
外国語	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	1科目を選択



2025年度実施～：7教科21科目

出題教科	出題科目	
国語	国語	
数学	① 数学Ⅰ、数学A 数学Ⅰ	①から1科目選択 ※数学Aについては2項目の内容（図形の性質、場合の数と確率）に対応した出題とし、全てを解答 ※数学B及び数学Cについては、数学Bの2項目の内容（数列、統計的な推測）及び数学Cの2項目の内容（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）に対応した出題とし、このうち3項目の内容の問題を選択解答
	② 数学Ⅱ、数学B、数学C	
地理歴史	地理総合、地理探究 歴史総合、日本史探究 歴史総合、世界史探究 地理総合、歴史総合、公共	地理歴史及び公民から最大2科目選択 ※「地理総合、歴史総合、公共」はいずれか2科目の内容の問題を選択解答 ※同一名称を含む科目の組み合わせで2科目を選択することはできない。 ただし、「歴史総合、日本史探究」と「歴史総合、世界史探究」の組み合わせは可能
公民	公共、倫理 公共、政治・経済	
理科	① 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎	A:①から2科目の内容の問題を選択 B:②から1科目選択 C:①から2科目の内容の問題を選択 及び②から1科目選択 D:②から2科目選択
	② 物理 化学 生物 地学	
外国語	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	1科目を選択
情報	情報	

- ✓ ルール上は2022年度内の公表が努力義務 (2年前広報ルール)
- ✓ 個別校の方針公表は全国で見ても進んでおらず、早急な情報提供が待たれる
- ✓ 新課程生である現高1の文理選択のタイミングまでに公表しないと、高校生から志望校として選ばれない

2年前広報において配慮すべき主なポイント

■ 新課程影響

- 情報科目の取り扱い：入れるのか、入れる場合は必須なのか選択なのか
- 文系学部における数学Cの取り扱い：特に「ベクトル」
- 国語の出題範囲：必履修でない「論理国語」「文学国語」の出題有無
- 地歴公民の出題範囲

■ 行政施策影響

- 記述式問題の取り扱い
- 英語四技能評価の取り扱い：入れる場合は外部資格検定試験を使うのか、独自の作問か
- 主体性等評価の取り扱い：入れる場合は評価方法（調査書か、志望理由書等の提出か、他の方法か）、評価基準を公表するか否か

■ その他

- 新たな作問傾向に対応した模擬問題まで掲出できるか否か

など